



## 「行政サービス」 ～行政サービスの質の向上～

### オンライン手続きの拡充

令和4年度には、新たに「自転車乗車用ヘルメット購入の補助金」「私立高等学校等授業料補助金」「国民健康保険の脱退」の手続きなどがオンラインで申請できるようになりました。

NEW

	手続き	担当課
1	自転車乗車用ヘルメット購入費補助金に関する手続き	市民安全課
2	医療費受給者証交付/変更/再交付申請(※1)	保険医療課
3	国民健康保険脱退に関する手続き(※2)	
4	マイナンバーカード受取・申請の予約	市民窓口課
5	児童クラブ休会/退会/加入変更届	こども政策課
6	保育園利用施設変更/決定辞退/申請取下げの手続き	幼児教育・保育課
7	私立高等学校等授業料補助金に関する手続き	学校教育課

NEW

NEW

※1 内容によってできる手続きが異なります。  
 〈子ども医療〉全ての手続きの申請が可能  
 〈心身障害者、母子・父子家庭、精神障害者医療〉  
 変更・再交付の申請が可能  
 〈後期高齢者福祉医療〉再交付のみ申請が可能

※2 職場の健康保険に加入した場合に限る。

### 施設予約システムの改善

1月から、オンラインでの新たな施設予約システムを稼働しました。市民がより優先的に利用でき、施設に行かなくても、オンラインで施設の予約、抽選申込、支払が可能となりました。

①24時間予約可能

②オンライン決済が可能

③抽選もネット申込



▲詳しくはこちら

書かずに簡単♪  
らくらく窓口

### 窓口業務の改善

市民の利便性向上のため、案内掲示板やWebで待ち人数が確認できる新たな「呼び出しシステム」や、窓口で申請書をほとんど記載することなく手続きが行える「こまきスマート窓口」を令和4年2月より導入しています。

今年度は、「こまきスマート窓口」に転入に関する手続きを追加したほか、各支所でも一部の手続きの取り扱いを開始しました。

今後は、マイナンバーカードに関連する申請書を追加するなど、「こまきスマート窓口」の拡充を予定しています。



ホームページで各支所の手続一覧が確認できます▲



## 「財政運営」 ～健全財政の維持に向けた取組～

### 新たな自主財源の確保

ふるさと納税ポータルサイトを6社から10社に拡大し、寄附者の利便性向上と寄附促進に努めています。

また、最低寄附額を5,000円から1,000円に引き下げ、寄附額帯を増やすことで寄附者にとって選択肢が広がり寄附しやすい環境を整えました。

### 公共施設のバリアフリー化・省エネルギー化の推進

消防本部庁舎、消防署東支署、消防団第3・5・6分団車庫、北里市民センターの屋外水銀灯LED化工事、南スポーツセンター武道館の水銀灯LED化工事を施工し、市役所東庁舎の照明のLED化はリース方式に切り替えを行いました。

また、東町会館および懐会館のトイレ、岩崎原会館の玄関において、バリアフリー化する工事を施工しました。

令和4年度における **行政改革** の主な取組をご紹介します  
 ～行政改革で目指すものは…信頼される**市政運営**です～

問合せ 行政改革課 (☎76-1156)

小牧市の行政改革とは？

行政改革の取組は、その4つの基本施策である「協働・情報共有」「行政サービス」「行政運営」「財政運営」により、市民の皆さんから信頼される市政運営を持続的に推進しています。ここでは、主な取組をご紹介します。



**「協働・情報共有」** ～市民と行政の協働によるまちづくり～

7ページでも紹介

**市民活動支援、協働機会の充実**

まちづくりの大きな力となる市民活動団体による創意と工夫のある市民活動を支援し、協働のまちづくりを推進するため、「市民活動助成金」について3団体へ、「地域に還元チャレンジ助成金」について5団体へ交付を決定しました。

**自治会活動等の支援**

区長の事務負担の軽減や担い手不足解消を目指し、区長事務のデジタル化を進めています。自治会専用アプリ「結ネット」を活用したデータでの区長への情報発信を行い、また、連絡業務や回覧板の連絡文書などの情報をアプリを使って共有する実証実験を8つのモデル区で実施しました。今後、さらにモデル区を増やして、実証実験を継続します。



**情報提供の充実、まちレポこまきの活用**

スマートフォンをお持ちの高齢者で操作があまり得意でない方を対象に、「スマートフォン活用講座」を開催しました。講座では、市が情報発信するLINEなどの「SNS」や「まちレポこまき」の利用方法を案内しました。今後も「スマートフォン活用講座」やスマートフォンの個別相談に応じる「スマートフォン個別相談会」などを開催し、情報格差の解消に努め、より多くの方に情報をお届けできる環境を整えます。



SNSの詳細はこちらから▶



**「行政運営」** ～効果的・効率的な行政運営の推進～

**業務の棚卸**

保育園における保育支援システムの導入など、複数の部署で業務の「ICT化」「委託化」「業務フローの見直し」を行い、業務改善の取組を進めました。また、さらなる業務効率化を進めていくため、新たに全庁業務量調査を実施し、各所属の業務内容や業務量の見える化に取り組みました。

**AI、RPAの導入・活用**

業務の効率化に向けて、データの読取り・入力等の定型かつ非専門的な業務を対象に新たにAI-OCRを6業務、RPAを4業務に導入しました。